

2023年度第1次募集入学試験筆記試験（小論文試験）

次の問題文を読んで、後の設問に答えなさい。

【文章省略】

下記の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

[出典：瀧川裕英「くじ引き投票制の可能性」同編著『くじ引きしませんか？ーデモクラシーからサバイバルまで』（信山社、2022年）109頁。出題の都合上、文章の一部を省略し、注及び小見出しを削除する等の変更を加えた。]

設問1

問題文冒頭の救助の事例を考えたとき、①総和主義、②追加説、③均等確率説、④公平確率説を前提に、(1)海の左手の沖に溺れているのが1人、右手の沖に溺れているのが4人の場合、(2)海の左手の沖に溺れているのが1人、右手の沖に溺れているのが99人の場合、(3)海の左手の沖に溺れているのが99人、右手の沖に溺れているのが101人の場合のそれぞれの救助の確率を600字以内で説明しなさい。①総和主義は□□であることから、(1)の場合1名の救助確率は××%、4名のそれは△△%、(2)の場合・・・といったように解答しなさい。

設問2

公平確率説について、(1)総和主義、追加説及び均等確率説の観点を折り込みながら批判し、(2)その上で公平確率説の観点から反論しなさい。700字以上1200字以内で解答すること。